

鹿児島県柔道会だより

■発行人/北 哲郎 ■編集/総務部編集委員会 ■発行/財団法人鹿児島県柔道会 (電話 099-222-7770)

年頭の所感

会長 北 哲郎



平成19年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、私共の願いであります「武の国薩摩」の復活の兆しが若干見えてきたような感じがいたします。これも一重に皆様方のご協力の賜と感謝いたしております。

昨今、マスコミ等の報道でご存知のとおり、いじめによる児童生徒の自殺問題や親が子を子が親を危めるなど、想像を絶するような凶悪事件が毎日のように発生しています。将に心の荒廃が深刻な状況にあり国の行末が案じられてなりません。

今が正念場、全ての柔道人が一丸となって「人間形成を目指す柔道」の普及振興に取り組まなければならないと考えています。

わが鹿児島には、江戸時代から継承されている「薩摩の郷中教育」があり、児童生徒に、〇負けるな〇うそを言うな〇弱いものをいじめるな、という三訓でよりよく生きるための態度・習慣を育ててきました。

この郷中教育によって西郷隆盛や大久保利通など、数多くの偉人が排出したことは周知のとおりであります。

我々は、このような英傑を育てた風土と歴史を誇りに思うと同時に、この郷土に根付き発展してきた柔道を心から愛し、これから生きていく青少年のた

めに嘉納治五郎師範の「講道館柔道(精力善用、自他共栄)」を正しく伝えていく責任を感じ、その手立てを講じていかなければなりません。

そのためには、各分野での協力と努力の継続を願って止みません。

皆様のご健勝を祈念致します。

○ 県柔道会稽古納め

12月23日(土)・県柔道会館

恒例の稽古納めは、23日(土)県柔道会館で実施。北会長は、冒頭の挨拶で、「今年は本国体に高校男女がアベック出場するなど、強化の成果が実った年でもあった。また、今日は1年を締めくくる稽古納めでもあるが、気候が暖かくて少々実感が湧かない。稽古で汗を流し来年も素晴らしい年にして欲しい。」と述べた。

その後、取：鈴木義和五段(修学館高校教諭)、受：黒木徳男五段(鹿児島情報高校教諭)による講道館護身術が披露され、中園雅博五段(鹿児島県警)の指揮で乱取りを行った。

参加者は、県警機動隊員や市内の大学、高校生など約40人が参加した。



稽古納めで汗を流す参加者

⇒県柔道会館

(写真提供:南日本新聞社)

○ 県柔道会稽古始め

1月6日(土)・県柔道会館

柔道会の稽古始めは、1月6日(土)県柔道会館で約70名の参加者を得て行われた。

会長は、年頭の所感を要約して延べ、柔道による人間づくり、教育柔道を力説、薩摩の郷中教育という郷土の素晴らしい風土に思いを馳せ、嘉納治五郎師範の「世に補益する」大切さを強調、柔道によって日本の再建を図ろう。という趣旨の挨拶を行い参加者一同熱心に聞き入っていた。

そのあと、鹿児島刑務所の刑務官徳永正明六段と小林義弘六段による「講道館護身術」が披露され、今年の初稽古を行った後、準備された「しる粉」をおいしそうに食べていた。

特別寄稿

「よろこびを感じた日」

北 孝 子

2007年1月6日(土)、鹿児島市では成人式があり、県柔道会では稽古始めが行われました。

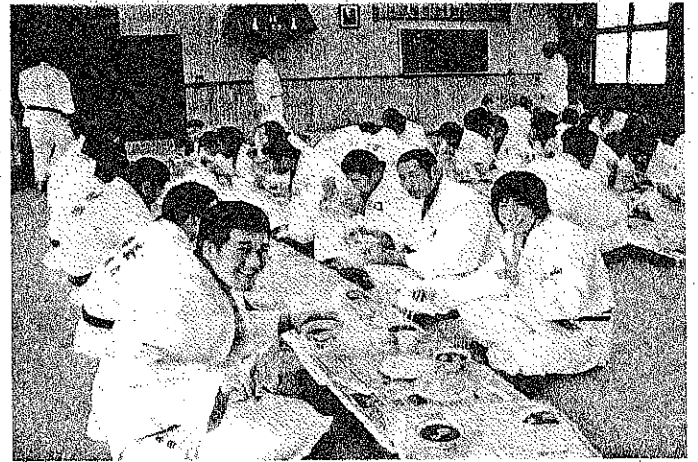
稽古始めには、一般の人や学生さんら約70名が参加し一汗流した後に、純白の稽古衣に身をつつんだ方々が、私ども三人のスタッフが用意した「ぜんざい」に舌鼓を打ちながら、身も心も新しい年への思いを新たにされたことではないかと思えます。

鏡開きの終わった後、鹿児島大学柔道部の女子2名を含む15名の学生さん方が、キャプテン野村さんの指示のもと、茶碗や大きな鍋の後片付けを始め、私たちはただびっくり、その手際の良さ、クズひとつ残さず台所もピカピカ、そして私たちへの感謝の言葉まで述べられました。

まだまだ素晴らしい学生の方々がいらっしゃるのだと、喜びと感謝の念でいっぱいでした。

スポーツから学ぶ素晴らしい人間関係、ずっと持ち続けて欲しいと願いつつ、実に爽やかな嬉しさの中で帰路に着きました。

本当にありがとうございました。そしてご苦労様でした。素晴らしい方々との出会いに感謝。



《試合報告》 柔道会主催行事

新しい年の初試合:甲陵・鹿南高が優勝

年も改まり、県柔道会主催行事がこれからしばらく、くが、その先端を切ったのが、1月20(土)、21(日)の2日間にわたって行われた県下高等学校柔道選手権大会。初日は団体戦、2日目は個人戦が行われた。

男子は、5人1チームによる勝ち抜き選で実施されたが決勝で甲陵高校の先鋒福重が3人抜きの大活躍、大将以下3人を残して鹿児島商業高校に圧勝、5連覇を果たした。

なお、この大会で5人抜きの選手が皆無だったのは、47回を数える大会で初めてのことだった。

一方、女子団体戦は3人1チームによる対戦。決勝で鹿児島南高校がこのところ進境著しい鳳凰高校を大将戦で接戦の末下して優勝した。

甲陵高校、鹿児島南高校の両校は、3月21日東京で行われる全国大会に出場する。

2日目の男子個人戦は、60kg級田中(鹿商)、73kg級矢田(甲陵)、90kg級遠矢(甲陵)、100kg級久保田(鹿工)、100kg超級高木(鹿商)が優勝。

女子個人戦は、52kg級西菌、70kg級兒玉、72kg超級上菌の鹿児島南勢が優勝を独占した。

年度内の柔道会主催行事

2月4日 県柔道選手権・県女子柔道選手権

2月18日 県下中学校新人柔道大会

2月25日 県下少年新人柔道大会

また、県選抜中学生強化練習や県中学特別強化練習なども計画されている。

鹿児島県・シンガポールの

スポーツ国際交流

平成18年9月25日～29日

理事長 松永郁男

鹿児島県は香港やシンガポールとのスポーツ国際交流を長年に亘って行っている。

今年、柔道競技がその交流競技に選ばれ、9月25日～29日の間、団長に北哲郎会長、副団長に松永郁男理事長、男子コーチに稲田博実(鹿児島工業高校教諭)、女子コーチに吉村智之(鹿児島南高校教諭)以下選手は男子6名、女子5名、合計15名でシンガポールとの柔道の国際交流を行った。

1日目は、シンガポール柔道連盟による夕食歓迎会があり、バカ・シン会長からの歓迎の挨拶を受けその後に北哲郎会長の返礼の挨拶があり、食事をしながら両国の柔道事情を話し合った。若い高校生はすぐに打ち解けて仲良くなっていた。

2日目は、自治体国際化協会シンガポール事務所を訪問し、シンガポールの歴史、現状等について千葉所長より説明していただき、午後2時よりシンガポール国立大学へ行ってシンガポール柔道クラブとの合同練習を行った。最後に、交流試合を行った。

シンガポールチームにはナショナルチームの選手が男女1名ずついるとのことであった。

試合は1点を取られたが、男子は5対1、女子は5対0で快勝した。

結果は以下のとおり。(9月26日、場所はシンガポール国立大学体育館)

▼ 女子

鹿児島県チーム 5 — 0 シンガポールチーム

| | | |
|---------|-------|---------|
| 石寺(鳳凰高) | ○縦四方固 | リンシン・ハイ |
| 堅山(鹿南高) | ○袈裟固 | ジエイチャン |
| 西園(鹿南高) | ○縦四方固 | ジアングン |
| 吉元(鹿南高) | ○横四方固 | ゼンクンイ |
| 山下(鳳凰高) | ○大内刈 | イェル |

▼ 男子

鹿児島県チーム 5 — 1 シンガポールチーム

| | | |
|---------|------|-----------|
| 藤原(鹿情報) | ○大外刈 | ジャyson・タン |
| 川畑(鹿工高) | ○三角絞 | ダニエル・チン |
| 内門(甲陵高) | ○小内刈 | アルビィ・ヨー |
| 米山(鹿工高) | ○内股 | ベンジャミン |
| 森山(鹿情報) | 棄権勝 | ○ウィブンセン |
| 田中(鹿工高) | ○体落 | チェオ・ジイ |

今回は、鹿児島県のトップクラスの選手を選抜し派遣したことで交流試合では実力差がみられた。シンガポール側に一人ナショナルチームの選手が入っていて、その選手と対戦した鹿児島の選手が負傷し、棄権負けになった。

次の日も、試合を予定していたが、シンガポール側が学校の授業の関係で選手が揃わないこともあって、また試合より練習を希望していたので練習だけで終了した。

シンガポール柔道クラブは常設の道場がなく、多目的ホールに畳を敷いて週2～3日練習をして、残りの日は体カトレーニングに力をいれているとのことであった。日本みたいに毎日練習することが理解しがたい感じであった。

参加した生徒たちの感想文には下記のようなものが見られた。

- 1 施設等の恵まれない中で柔道に取り組む情熱は素晴らしく、自分たちももっと頑張らなければならないと思った。
- 2 柔道をやってきてこのような機会に恵まれたことは幸せだった。
- 3 国際交流で見識が広まり、大変有意義であった。以上のような成果を挙げることが出来たことを、会長始め、柔道会役員一同喜んでおります。

(月刊誌「柔道」1月号：講道館発行より転載)

鹿児島県とシンガポールとの国際交流は、1982年から隔年で「鹿児島・シンガポール交流会議」を開催し様々な交流が続けられ、90年以降はスポーツ交流も行われこれまでに、アーチェリーやフェンシングなど八つの種目で相互訪問団を派遣してきたが、今回柔道が派遣された。(写真は次ページ)



お知らせ

体重区分が変わりました

平成19年度第4回全国小学生学年別柔道大会

【平成19年度からの体重区分】

小学5年生女子 40kg級, 40kg超級(現行どおり)

小学5年生男子 45kg級, 45kg超級(現行+5kg)

小学6年生女子 45kg級, 45kg超級(現行どおり)

小学6年生男子 50kg級, 50kg超級(現行+5kg)

平成18年度鹿児島県登録状況

2007年1月22日(月)現在

| | | |
|---------|--------|--------|
| 鹿児島県警 | 1 団体 | 184 人 |
| 一 般 | 18 団体 | 183 人 |
| 大 学 | 8 団体 | 138 人 |
| 高等学校 | 61 団体 | 544 人 |
| 中学校 | 81 団体 | 835 人 |
| スポーツ少年団 | 49 団体 | 627 人 |
| 未 就 学 児 | | (21) 人 |
| 合 計 | 218 団体 | 2511 人 |

| | | |
|---------|--|-------|
| 指 導 者 数 | | 560 人 |
| ライセンス A | | 6 人 |
| ライセンス B | | 60 人 |
| ライセンス C | | 114 人 |
| 顧問審判員 | | 2 人 |

成功させよう！

マルちゃん杯九州少年柔道大会

平成19年6月10日(日)鹿児島アリーナ

有名選手も大集合！

九州ジュニアブロック合宿・柔道フェスタ

平成19年10月25日(木)～28日(日)

鹿児島アリーナ武道場

奄美大島で高校大会！

平成19年度九州高等学校新人柔道大会

平成19年11月24日(土)・25日(日)

奄美体験交流館

九州の強豪一同に！

第50回九州柔道選手権大会

第18回九州女子柔道選手権大会

平成20年3月9日(日)

鹿児島アリーナ

【編集後記】

平成19年度は、鹿児島県において九州規模の大会やイベントが四つも開催されます。

財団法人鹿児島県柔道会の総力を結集して成功させなければなりません。皆様方のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

柔道会だよりも第6号を発刊する運びになりましたが、「継続は力なり」といいます。微々たるものであっても号を重ねることが力になると信じます。今回は、北孝子様より特別寄稿をいただきました。ありがとうございました。このような励ましが若い人たちにやる気を起こさせ正しい教育柔道を育てる原動力になると思います。皆様方も身近な出来事でも結構ですのでお寄せ下さい。(副会長兼総務部長：木原紀幸)